

■ 大学院生等によるポスターセッション

日時：平成 26 年 9 月 20 日（土） 11：30 ～ 14：30
 9 月 21 日（日） 12：00 ～ 14：30

百周年時計台記念館

テーマ・部局	発表の内容等
「文献学」で掘り起こせ！ 古代インドの思想大発掘！！ 文学研究科	ヴェーダから仏教に至るまで、時に神秘的で、時に理知的な古代インドの思想は私たちが魅了します。しかし、そもそもどのようにして遙か昔のインド人が考えたことを知ることが出来るのでしょうか。現代に生きる私たちが古代インドの思想を知ろうとすると、「文献学」により思想を掘り起こす作業が欠かせません。本ポスターセッションでは、写本の読解から思想の復元へと至る、古代インドの思想を研究する際の文献学的なプロセスを紹介します。
Why “k” not? –結び目– 理学研究科	結び目をするとき、1 回目と 2 回目で結び方を同じにするより、逆にした方がほどけにくいというのをご存じでしょうか。このようにひもの結ばれ方の違いについて考える学問を「結び目 (knot) 理論」といい、単純そうで未解決問題もまだまだ残る数学の 1 分野です。結び目に実際に触れ、計算でない数学を「体験」してみませんか。
京都の庭にある大切な砂利 –白川砂– 農学研究科	白川砂は平安時代から、京都市左京区北白川地域では採取された美しい砂利で、99%の京都の枯山水に使われていた。しかし近年、白川砂の調達ができなくなり、京都の枯山水の保全問題が現れている。白川砂の歴史や魅力とその保全問題を紹介して、本物と代用品の判断や様々な砂紋の描き方を体験するコーナーも用意する。
Henry James の小説の面白さを知る 人間・環境学研究科	Henry James は、アメリカに生まれイギリスで活躍した 19 世紀から 20 世紀の英米文学を代表する作家の一人である。彼の作品は主に無垢なアメリカ人と世慣れたヨーロッパ人とを対比させるもので、その文章は難解だと言われてきたが、必ずしもそうではない。前期の作品は、比較的理解しやすく面白い。今回は前期の作品を中心に彼の作品の面白さを伝えたい。
『トム・ソーヤの冒険』の著者 マーク・トウェインの生い立ちと作品 人間・環境学研究科	アメリカの作家マーク・トウェインは『トム・ソーヤの冒険』以外にも数多くの作品を執筆しています。その中には、一度は聞いたことがあるような機知に富んだ話もたくさんあります。ユーモア作家と呼ばれるトウェインのトム・ソーヤ的やんちゃな生い立ちと主要な作品の面白さをご紹介します。
エドガー・アラン・ポーの世界 人間・環境学研究科	アメリカの作家エドガー・アラン・ポーは多くの優れた詩や小説を書き、これまで世界中でたくさんの人々を魅了してきました。その作品は、後世の文学だけでなく哲学・思想から映画・マンガに至るまで幅広い分野に影響を与え続けています。ポーの傑作の数々を紹介しつつ、その作品が持つ不思議な魅力について説明したいと思います。
コンピュータが学習すると 人間・環境学研究科	データに潜む規則性をコンピュータに学習させ、実際の予測に役立たせる手法に「機械学習」というものがあります。いわば、コンピュータに「勉強」をさせるということです。この発表ではその応用例として、画像の識別を中心に、ゲームや話題の「ビッグデータ」への活用についても触れます。
音楽と詩 人間・環境学研究科	中学の教科書に載っているような有名な曲（主にイギリスのもの）の由来、詩と音楽の関係やそれにまつわるエピソードを紹介します。
生活の中のエネルギー、このまま使い続けて大丈夫？ 実は、「エネルギー」と「環境」には切っても切れない深いつながりがあります。色々な発電方法を通してエネルギーと環境のつながりを考えましょう。 エネルギー科学研究科	節電、節電！あなたの家のクーラーの設定温度は何度ですか？今年の夏は快適に過ごせましたか？ 快適な毎日を過ごすために、電気は私たちにとって必要なエネルギーです。その発電にはどんな方法があるのでしょうか。色々な発電方法とその利点・欠点を、ポスターと実演を通して説明します。